

BANK OF IKEDA

平成20年度  
第1四半期の業績について

## ごあいさつ

いつも池田銀行をご利用いただきましてありがとうございます。  
平成20年度第1四半期の業績についてお知らせします。  
ポイントは以下のとおりです。

- ① コア業務純益は、第1四半期の3カ月間で34億円となり、業績のV字回復実現に向けて、順調に推移しております。(20年9月期予想65億円)
- ② 預金は、個人預金を中心に年間548億円(年率2.5%)増加しました。貸出金は、事業性貸出を中心に順調に推移し、年間897億円(年率5.9%)増加しました。
- ③ 自己資本比率は、9.8%と十分な水準を維持するとともに、不良債権比率は、2.4%に低下し、資産の健全性強化が一段と進んでおります。尚、有価証券の含み損は、160億円となっておりますが、リスク管理体制を強化し、金融経済情勢ならびに市況の変動を慎重に検討しながら、早め早めに対応することで、解消に努めております。

「関西のビジネスを、強く、新しく。」…

“ニュービジネス助成金”と“コンソーシアム研究開発助成金”は、創設以来の応募累計が1,000プランにもなりました。

地元大学との連携を拡大し、本年は、新たに大阪府立大学・大阪市立大学とも協定を結び、ベンチャー育成も成果を上げています。

また、本年5月30日には、平成21年4月1日を目処に泉州銀行と持株会社を設立する方式により、経営統合を進めていくことについて、「経営統合に関する基本合意書」を締結しました。

関西地域における代表的な独立系の金融グループとして、最良の地域金融機関となることを目指し、新たな第一歩を踏み出します。



これからも、創業のころ“親切で新しい”を大切に、企業価値を高めながら、地域の皆さまのお役に立ち、ご信頼、ご期待にお応えするよう努めてまいります。引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年8月

頭取 服部 盛隆



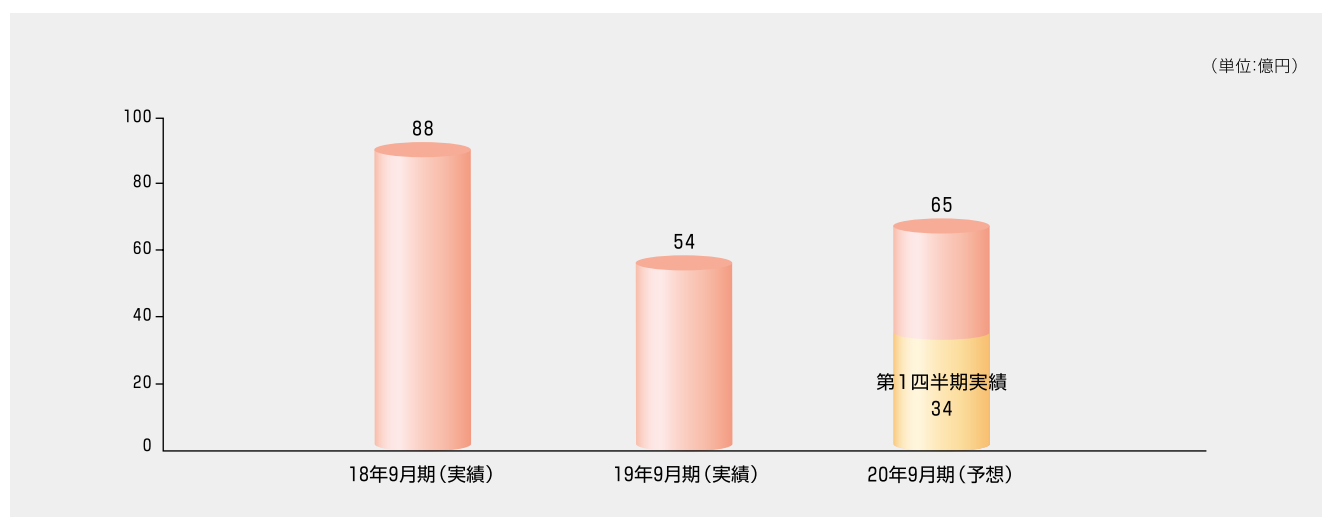
池田銀行

# 平成20年度 第1四半期(4月~6月)のポイント

- コア業務純益は34億円となり、順調に推移しております。
- 自己資本比率は、9.8%と十分な水準を維持しております。
- 預金は、個人預金を中心に年間548億円増加しました。
- 預かり資産残高は、個人年金保険等が増加し、3,447億円となりました。
- 貸出金は、事業性貸出を中心に順調に推移し、年間897億円増加しました。
- 不良債権比率は、2.4%に低下し、資産の健全性強化が一段と進んでおります。
- 有価証券の含み損は、160億円となりました。

## ◆コア業務純益〈平成20年9月期予想〉

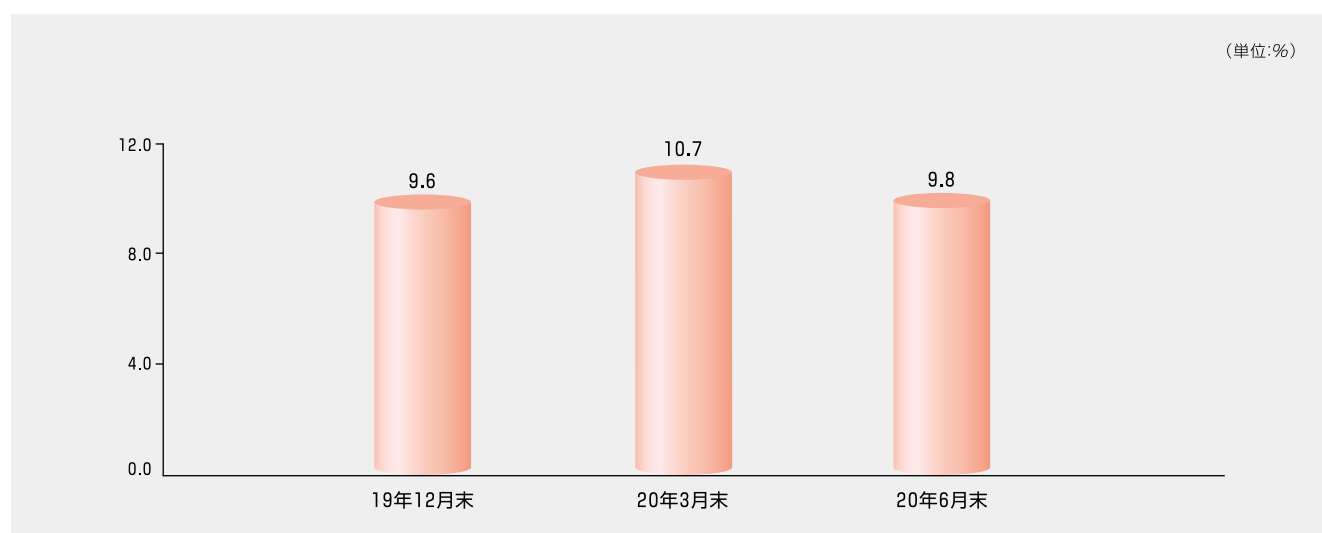
コア業務純益は、第1四半期の3ヵ月間で34億円となり、概ね計画(20年9月期予想65億円)どおり推移しております。



〈コア業務純益〉 預金や貸出金・債券運用、為替業務など、銀行の本来的業務の成果をあらわす利益(業務純益)から、債券売買損益等を除いた利益です。

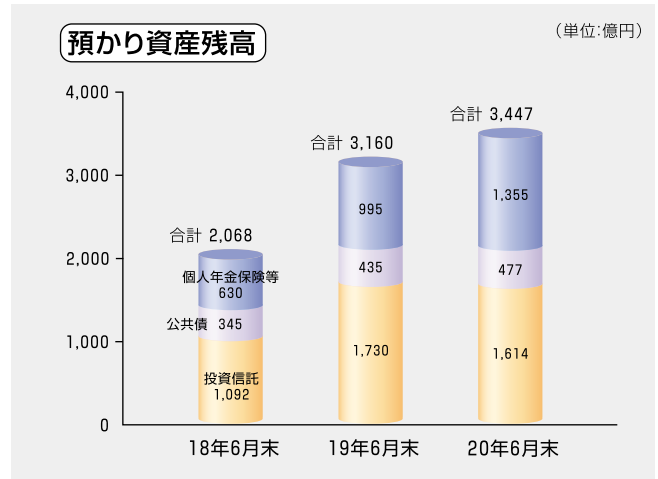
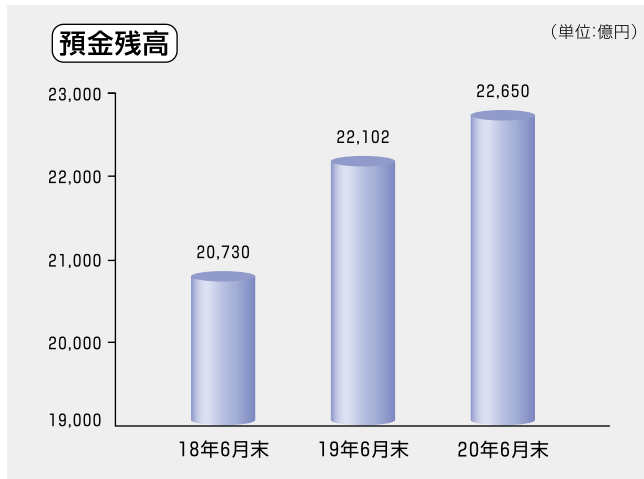
## ◆自己資本比率〈国内基準・単体〉

自己資本比率は、9.8%と引き続き十分な水準を維持しております。



## ◆預金・預かり資産の動向

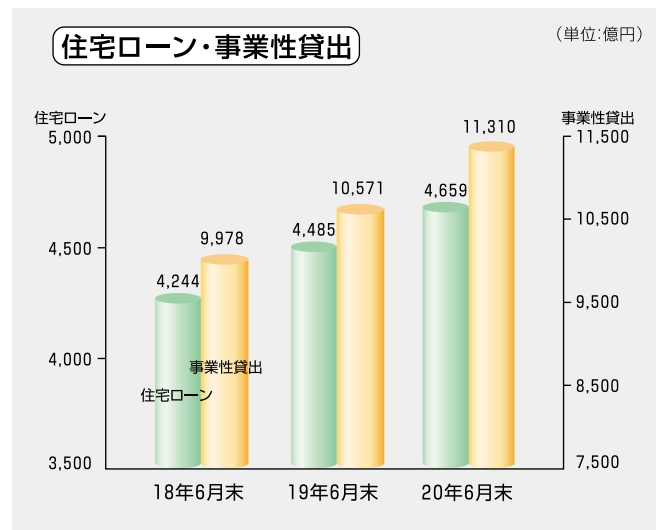
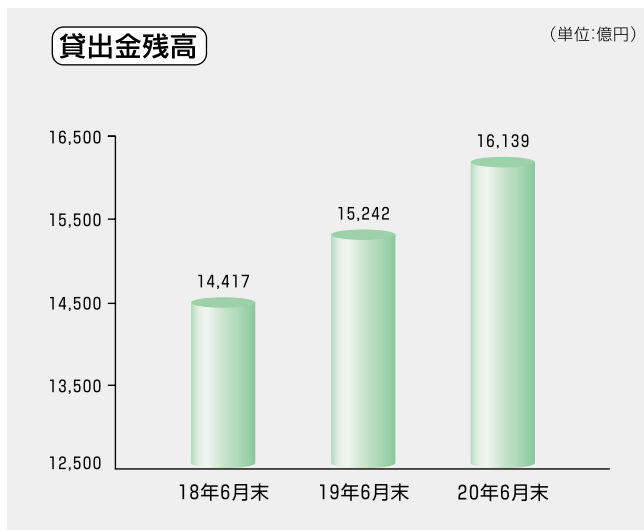
預金は、個人預金を中心に年間548億円増加。預かり資産は、年間287億円増加しました。



\*個人年金保険等は、販売累計額を計上しております。

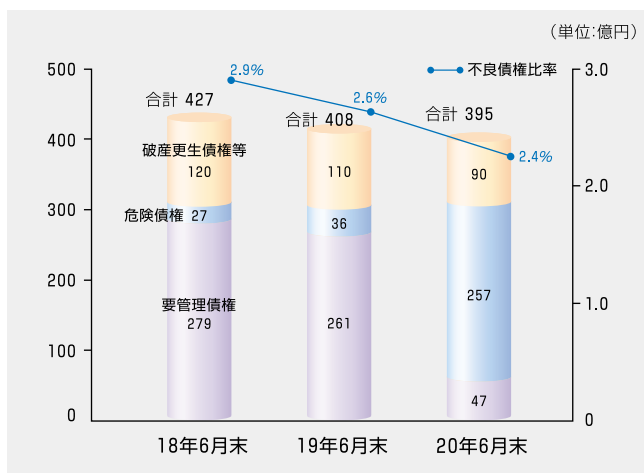
## ◆貸出金の動向

貸出金は、事業性貸出を中心に順調に推移し、年間897億円増加しました。



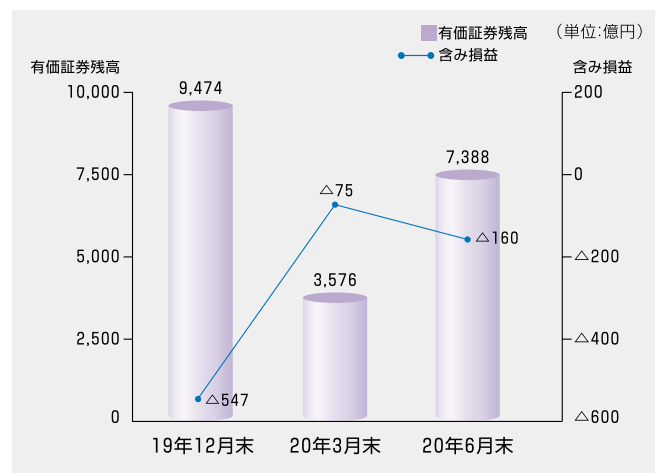
## ◆不良債権の状況

不良債権比率は、2.4%に低下しました。



## ◆有価証券の状況

有価証券の含み損は、160億円となりました。



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、経営環境の変化などにより、異なる可能性があることにご留意下さい。

## 「経営統合に関する基本合意書」を締結

平成20年5月30日、当行と泉州銀行は、経営統合に向けた基本合意に達しました。関西を代表する、独立系の地域金融グループとなることを目的として、本年11月28日を期限とした最終合意に向けて、事業戦略やビジネスモデルなど、具体的な内容の検討を進めています。

統合後の新しい金融持株会社は、預金量が約4兆円、関西経済の中心である大阪で、最大の独立系地域金融グループとなります。

両行がそれぞれの地域で構築してきた地域金融機関としての基盤やネットワークをベースに、それぞれの特色であるインベストメントバンキングや個人向けリテールバンキングを活かしてシナジー効果を発揮し、近畿No.1銀行を目指してまいります。

新金融グループのコアエリア



## 第5回〈池銀〉ビジネス交流会を開催

平成20年4月、地域経済の発展と仕事の創造を願い、〈池銀〉ビジネス交流会を開催しました。今回は、第1部として中国・蘇州市吳中区人民政府による企業誘致セミナーを開催し、蘇州の最新情報をご提供。また第2部では、野村総合研究所チーフエコノミストのリチャード・クー氏による講演会「内外から見た日本経済」、そして

第3部は新たなビジネスパートナーとの出会いを目指し、産学官交流や国際交流の場となる「情報交流会」を開催しました。地元企業をはじめ、地域産業の発展を積極的にサポートする公的機関、ベンチャー育成機関、地元大学の皆さまなど、総勢400名を超える方々にご参加いただき、活気あふれる催しとなりました。

## 〈池銀〉コンソーシアム研究開発助成金 13プランを採択

第4回目となる平成19年度「〈池銀〉コンソーシアム研究開発助成金」は、19大学・6公設研究機関とコンソーシアム事業を形成する、50プランのご応募をいただきました。各プランの研究開発体制・技術上の競争力・市場性・採算性等について、「評価委員会」が総合審査のうえ13プランを採択、助成金総額 3,000万円を贈呈いたしました。

平成16年の制度創設以来、ご応募いただいたプランの累計は151件、採択プランは56件となり、助成金の総額は1億2,000万円を超えました。

今後も、地元中小企業の「事業の多角化」や「第二の創業」を積極的に応援してまいります。



## “スペシャルサマーキャンペーン”実施中!

平成20年6月2日から、「スペシャルサマーキャンペーン」を実施中です。キャンペーン期間中、定期預金等を新たに30万円以上お取引いただいたお客さまに、スポーツ観戦やビーチ、スポーツジムやウォーキングなどで大活躍の“ファミリアのスポーツタオル”を先着30,000名様にもれなくプレゼント。

さらに抽選で、“宝塚歌劇賞切公演”に250組500名様をご招待いたします。チャンスは、平成20年8月29日まで。詳しくは、窓口・ホームページ・チラシ等でご確認ください。